

令和4年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」是川中学校区実践計画書

事務局 八戸市立是川中学校（担当：教頭 志塚 聡）

1 主題（3年計画の3年次）

『確かな学力と望ましい生活習慣を育成する小中連携のあり方』
～ 基礎・基本の定着を図る小中継続した指導の工夫 ～

2 主題設定の理由

本中学校区においては、縄文野焼きや小6体験入学を通じた交流機会の拡充など小・中協同実践の充実に努め、よりよい人間関係づくりを目指して、道徳教育を基盤としながら、協調性を育み互いを認め合う環境づくりに取り組んできた。その結果、「教職員の相互協力関係の構築」や「小学生の中学生への憧れや期待・中学生の小学生への思いやりや誇りの涵養」が図られ、児童生徒・教職員共に、「心のふるさと 是川」に対する愛着を深めることができた。そして、このように涵養された良好な人間関係づくりを土台とし、その上に「生きる力」の柱である「確かな学力」の育成に向けた取組を図ることが課題となった。

この実現のために、令和2年度から「学習部会」「道徳部会」「健康・保健部会」の3部会を、「学習部」「生徒指導部」の2部会に編成し直した。そして、研究実践を進めるとともに、基本的な生活習慣や家庭学習習慣の確立を図るため、今まで以上に小・中が連携して確かな学力を育成するとともに、家庭や地域との連携を深めながら、義務教育9年間を見通した継続的な学習指導や道徳教育、保健教育を推進し「学校づくりの共有」を目指していくこととした。保護者や地域の思いや願いを受け止めながら、是川中学校区の「子育ての共有」を図り「共に育て・共に育つ精神」に立った連携を充実させていきたい。

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織

【是川中学校区小・中学校ジョイントスクール推進協議会】



4 中学校区の重点指導項目

是川中学校区 重点指導項目

- ①良い姿勢で話をしっかり聞きとることができる。
- ②正しい言葉遣いで、自分の考えを分かりやすく伝えることができる。
- ③早寝・早起き・朝ごはん・挨拶の習慣を身につけることができる。（新）